

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置している。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味しているが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されている。弥生時代の環濠集落で有名な大崎台遺跡が所在し、古墳時代から平安時代の集落も数多く発掘されており、古来より住みよい所であった。

平安時代には、印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、上総介一族が勢力を伸ばしていった。鎌倉時代初頭に上総氏が没落すると、千葉氏一族の影響力が強まった。中世期の集落跡や城館跡も確認されているが、現在のような村落が形成されたのは、江戸時代以降と思われる。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足した。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農耕地帯であったが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、更にはJ R佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっている。

地区内には、J R佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、更に成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっている。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）があり、文教地区としての側面も持ち合わせている。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km²、人口は14.7%に当たる24,837人であるが、今後は、独立行政法人 都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、J R佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展している。

根郷地区のデータ

【令和8年3月末現在】

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| ○根郷地区：面 積 約17.5km ² | （佐倉市：面 積 103.69km ² ） |
| ○根郷地区：住基人口 24,837人 | （佐倉市：住基人口 168,207人） |
| ○根郷地区：人口密度 1,419人/km ² | （佐倉市：人口密度 1,622人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- 施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。
- 地域の実情に即しながら、D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進を図る。

施設利用

開館日・開館時間

①日曜・月曜・火曜・祝日 9時～17時

②水曜～土曜 9時～21時

※17時以降の施設利用がない場合は17時まで

利用区分 1時間単位（9時～21時）

休館日 第2・4月曜日、年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用件数 (件)	1, 571	1, 797	1, 874	1, 948	2, 085
利用人数 (人)	11, 949	17, 345	20, 954	21, 252	21, 368
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

令和 7 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数 (回)	利用回数	稼働率
ホール	3, 468	1, 100	31. 7%
学習室 1	3, 468	921	26. 6%
学習室 2	3, 468	1, 131	32. 6%
プレイルーム	3, 468	885	25. 5%
調理室	3, 468	390	11. 2%
和室	3, 468	311	9. 0%
集会室	3, 468	1, 102	31. 8%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	1～2歳児と 保護者15組	5/9 10人 5/23 8人 6/13 10人 6/27 10人 7/11 8人 9/12 6人 9/26 8人 10/10 6人 10/24 6人 11/15 22人 11/28 8人 12/12 6人 1/9 8人 1/23 13人 特別編 10/20 6人	親子で一緒に運動や絵本、手遊び・工作等を楽しみ、幼児の様々な発達を促した。 児童館や図書館が休館となる月曜日に特別編を開催した。
	家族で体験教室	小学生 と保護者 家族8組	5/17 7人 5/31 7人 6/21 7人 7/19 6人	5/17 順天堂大学学生によるレクリエーション 5/31 トマト、バジル、パセリの栽培 6/21 化学実験 7/19 トマト、バジル、パセリを使った調理実習
青少年教育	こども体験講座	ジュニア防災 デイキャンプ 根郷地区 小中学生18人	7/29 6人	【第1部】 佐倉市八街市酒々井町消防組合による救命講習と消火器訓練 【第2部】 佐倉市栄養士による缶詰・乾物・菓子類を使った災害食調理 【第3部】 佐倉市危機管理課による災害避難を想定したカードゲーム
		絵手紙教室： 小学1年～6年 10人	7/23 6人	筆の持ち方、線の引き方を学んだ後に、半紙、ハガキに練習を行い、うちわへ絵とコトバを描く。 ハガキは夏休みの間、館内に掲示し、その後自宅へ郵送した。
		作文教室： 小学5年～ 中 学2年 20 人	7/24 6人 8/1 5人	1日目：本の選びかた、文章のまとめかたに関するアドバイス・講義。図書館司書によるおすすめ本の紹介。 2日目：希望の時間枠内で、持参した作文について、講師が個別指導。
		佐倉っ子塾 高速道路のお仕事 ＝ネクスコさんが やって来る 小学生 20人	8/5 9人	高速道路の保安業務について、講義のほか、動作体験や、使用車両の見学を実施。
		『オリジナルハーバリウムを作ってみよう ～ボトルアートの世界へようこそ～』 小学1年生～ 20人	8/26 18人	小中高校生からの申し込みが定員に達しなかったため、一般の参加も受け付けたことにより、机ごとに世代間交流を図りながら、ハーバリウムを作成。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 80人	5/16 66人 6/20 68人 7/18 73人 9/19 73人 10/17 68人 11/21 70人 12/19 65人 1/16 67人 2/20 64人 3/13 67人	5/16 開講式 6/20 佐倉の先覚者 西村勝三 7/18 認知症予防 9/19 災害に備えて 10/17 ピアノ・チェロ・声楽鑑賞 11/21 民生委員とは 12/19 佐倉市70年の歩み 1/16 成年後見制度について 2/20 フ レイル予防と軽体操 3/13 班活 動発表 閉講式
	シニア向け健康づくり講座	成人 20人	10/8 25人 10/15 23人 10/22 21人 10/29 21人	1回の開催で、前半が講義、後半が実技という体系で健康（健幸）づくりに励んだ。
	春待つ園芸講座	成人 20人	11/12 26人	根郷小学校卒業式に校門前に飾ることを想定し、春に咲く草花をプランターに植栽。 また、持ち帰り用ミニプランターの植栽を行った。
	珈琲学入門講座 ～おいしさの方程式～	成人 10人	11/29 10人	珈琲の歴史、豆の違い、珈琲の器具等に関する講義とコーヒー抽出の体験。
	お気に入りの布を使ってオリジナル御朱印帳を作ろう ～心を込めて作る一冊～	中学生以上 10人	11/8 13人	御朱印だけではなく、日本100名城や鉄道のスタンプなど様々な用途で利用するため、他の参加者とも協力しながら作成。
	おとなのための寄せ植え体験講座	成人 20人	12/13 20人	講師による寄せ植えのデモンストレーションの後、実習を行った。
	佐倉学	成人 各50人	5/30 41人	「鎌倉時代から戦国時代にかけての中世の千葉氏」 講師：日暮 冬樹氏
			10/31 39人	「レイテ島で佐倉連隊の戦跡をたどる」 講師：内田 儀久氏
		成人 各20人	自然観察 4/17 20人	自然観察：JR佐倉駅から六崎地区を散策し、JR佐倉駅へ戻った。
			浅間神社 7/1 19人	浅間神社：鐺木浅間神社の祭礼見学後、さくら庭園、勝寿寺、松林寺、東福寺を巡った。
	佐倉学体験講座 「こんにゃく作り講座」	成人 15人	12/4 16人	こんにゃく芋から、こんにゃくを手作り調理する。 自グループの他、他グループの作ったこんにゃくも持ち帰ることにより、他グループの参加者との交流もできた。

領 域	事 業 名	対 象	期 間 ・ 回 数	内 容
団 体 育 成	根郷地区社会教育 関係団体への支援	根郷地区青少年 育成住民会議	すくすくまつり 10/26 400人	すくすくまつりにおける会場提供
		花の応援団	4/14 4人 4/28 6人 5/12 3人 6/9 4人 9/8 2人 10/6 5人 11/10 4人 12/8 4人	4/14 種まき、花壇等の除草 4/28 チューリップ球根掘り 5/12 マリーゴールド等植込み 6/9 花壇等除草 9/8 花壇等除草 10/6 花壇等除草、秋植え前整地 11/10 チューリップ植込み・除草 12/8 花壇整地・チューリップ植込み
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	4/25 38団体	公民館の活動について理解を深めて頂く とともに、利用団体からの意見、要望を 伺った。 また、グループ活動の意義の理解を深め た。
	調理室利用者懇談会	利用団体代表者	2/26 8名	公民館の活動について理解を深めて頂く とともに、利用団体からの意見、要望を 伺う。衛生環境を徹底するため整理整頓 作業を行う。
広 報	根郷公民館だより	根郷地区の 各世帯及び 事業所	4/15 6,500部 9/15 6,300部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地 区の情報などを掲載した館報を発行し た。
図 書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、 返却の受付を行った。

1. 家庭教育事業

みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ

① 開設趣旨 絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

② 募集対象

令和4年4月2日～令和6年4月1日生まれの幼児とその保護者

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月 9日(金) 10:00～11:30	折り紙を使って	楽母楽子 廣田 和子
2	5月23日(金) 10:00～11:30	新聞紙を使って	
3	6月13日(金) 10:00～11:30	おうちの人にプレゼントを作ろう	
4	6月27日(金) 10:00～11:30	七夕 短冊にお願い事を書こう	
5	7月11日(金) 10:00～11:30	ボールを使って	
6	9月12日(金) 10:00～11:30	手形をとろう	
7	9月26日(金) 10:00～11:30	おもちゃを作ろう	
8	10月10日(金) 10:00～11:30	かけっこしよう	
9	10月24日(金) 10:00～11:30	自分のバッグを作ろう	
10	11月15日(土) 10:00～11:30	(家族参観日) ロケットを飛ばそう	

1 1	1 1月28日(金) 10:00～11:30	フープを使って チューリップを植えよう	楽母楽子 廣田 和子
1 2	1 2月12日(金) 10:00～11:30	ツリーに飾るものを作ろう	
1 3	1月 9日(金) 10:00～11:30	みんなで運動会	
1 4	1月23日(金) 10:00～11:30	お面を作ろう	

④ 講座を終えて

令和6年度から対象年齢を1～3歳として募集をしているが、今年度も思うほど人数が集まらず7組でのスタートとなった。しかし、家の都合で1組がキャンセルし、6組となった。

初めの頃は、個々の親子で活動することが多かったが、回数を重ねていくと、幼児だけで走り回ったり、道具を使って遊ぶようになっていった。さらに、2学年ということで、上の学年の幼児は、自覚しているのか、下の学年の幼児に対して「譲ってあげる」「持ってきてあげる」といった気遣いができるようになっていった。この講座のねらいとして掲げている「同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す」ことが出来たと思われる。また、保護者同士も回を重ねるごとにコミュニケーションが図れ、和気あいあいとした雰囲気で講座は進んでいった。

来年度は、開催曜日を児童センター等が休所の月曜日に移動する予定のため、集客がどの程度見込めるか、試しに特別編を月曜日に実施し、3組で行った。

アンケート結果をみると、講座の目的は、達成されていると回答された。自由記述欄に「毎回配布される こどもへの声掛けや心の持ち方などが書かれた用紙がためになった」といった家庭での教育を考えるきっかけづくりにもなったと思う。

講師は、こどもたちのありのままの姿を肯定する「自己肯定感」が大事と言うが、最近の講座を見ていると「机の上に乗る」「講師が読んでいる紙芝居を奪い取ろうとする」といった目に余る行動も保護者は注意をしない。どこまで注意をするか、すり合わせも含め、来年度に向け、講師と打ち合わせをしたい。

この講座は、佐倉市で根郷だけなので、細々でも良いので、長く続けたい。

みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ 特別編

① 開設趣旨 絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子遊び・体操などを通して幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。来年度 開催する場合は、月曜日に移行することから、月曜日に実施し、受講者がどのくらい集まるかプレ開催する。

② 募集対象

令和4年4月2日～令和6年4月1日生まれの幼児とその保護者

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月20日（月） 10:00～11:30	風船ロケットを作って飛ばそう	楽母楽子 廣田 和子

④ 講座を終えて

通常行っている講座の特別編として、月曜日に実施した。これまで月曜日に実施したことがなかったため、参加者数が見通せなく、結局3組の参加となった。

月曜日のサークルの影響とならぬよう空いている部屋を使い行った。

いつも通り朝の挨拶から始まった。この日は、風船ロケットを作って飛ばした。紙コップに切り込みと穴を開け、風船を通してから、風船を膨らませ、手を離すと「ビュー」と飛んで行った。参加の幼児は、皆喜んで何回も繰り返していた。「特別編」ということで、最後に館長から、手作りした工作キットがお土産として配られると、さらに喜んでいた。

アンケートを見ると、全員が満足と答え、「明るい雰囲気楽しい」

「こどもが楽しんで参加できました」「色々な工夫がされていてとても楽しめました」との声をいただきました。月曜日開催も高評価だったため、さらに内容を精査し喜ばれる講座にしていきたいと思う。

家族で体験教室

① 開設趣旨 最近では、インターネットの普及により個々で活動することが増えている。そこで、この講座では、家族の絆を深めるとともに、こどもの自主性や創造力を育む。また、他の受講者ともコミュニケーションを図ることで協調性を育むことを目的とする。

② 募集対象 小学4年生～6年生と保護者 8組

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月17日（土） 9:30～11:30	レクリエーション	順天堂大学 松山 毅
2	5月31日（土） 9:30～11:30	袋を使った野菜栽培	日本ハンギングバスケット協会 高橋 洋子
3	6月21日（土） 9:30～11:30	吸熱反応を体験する～吸熱反応と応用した実験を体験しよう。	成田西中学校 宮本 利之
4	7月19日（土） 9:30～11:30	調理 ・パセリ焼きおにぎり ・バジル入り手作りソーセージ ・ピーラーサラダ	栄養士 内田 順子

④ 講座を終えて

一部講座の内容を変えたうえで、昨年度からと同様の連続講座を実施した。定員を8組として、募集をかけたが、4組9人と応募が伸びず、最終的に身体不調によって、全講座欠席の家族も出てしまった

1 回目は昨年度のボッチャ単独の講座ではなく、他のレクリエーションスポーツを組み合わせるようにした。講師以外に大学生にアシスト参加していただいたが、さまざまな形で参加者とアシスト大学生との交流が生まれるとともに、簡単な動作を基本としたレクリエーションスポーツだったため、こどもたちの動きも良くリラックスして楽しんでいた。昨年と同様にボッチャは和やかな雰囲気の中ゲームがおこなわれた。

2 回目の袋を使う野菜栽培講座は、販売されている土壌を販売時の袋を鉢代わりにしたり、クーラー袋を土壌容器として野菜を栽培し、昨年度同様にその収穫を4回目の調理実習に使用するものであった。簡易な作業で植物栽培用容器が出来て、持ち運びも便利のため、こども向けとしては良い仕様になった。

3 回目の実験は、「吸熱反応を体験する～吸熱反応と応用した実験を体験しよう。」というもので、まず簡単な吸熱反応に関する講義をおこない、その後炭酸水素ナトリウムとクエン酸を混ぜて熱が吸収される様を実験にて体験した。次いで、その吸熱反応を利用したラムネ作りに挑戦し、化学変化で作られたラムネを皆で楽しんだ。

4 回目は、育てた野菜を持ち寄り、「パセリ焼きおにぎり」「バジル入り手作りソーセージ」「ピーラーサラダ」の3品を講師と食育推進委員2名の指導アシストを得て、調理完成させることが出来た。試食結果も好評であり、家庭でもこの料理を再び作ると、各家族は意気込んで残された材料を持ち帰っていた。

アンケートの結果をみると、小学生全員が「楽しかった」、保護者のほとんどが「事業の目的が達成されている」と答え、期待通りの成果が得られたと思う。事業内容としては、期待どおりの成果が得られたと思われるが、母体数が少ないこども中心の事業は、参加者の募り方に課題があると思われる。

2. 青少年教育事業

夏休み子ども体験講座 根郷公民館 ジュニア防災デイキャンプ

- ① 開設趣旨 将来必ずやってくる災害について、正しく恐れて備え、対応できる力を身につけられるよう、青少年を対象として、将来にわたる地域社会の防災力向上を目的に、災害を想定した体験に取り組む。
- ② 募集対象 小学4年生～中学3年生 18人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月29日(火) 9:30～15:30	災害時対応訓練 防災食の調理と試食防災食作り 防災カードゲーム クロスロード	佐倉消防署消防士 母子保健課栄養士 危機管理課 佐倉市ジュニアリーダーズクラブ

④ 講座を終えて

コロナ禍以前に実施されていた防災キャンプを、令和3年度より日帰りに変更して、4回目の開催となった。内容は3部構成を継続し、①第1部：救命講習、②第2部：防災食の調理実習、③第3部：クロスロード（防災ゲーム）をおこなった。

○第1部：救命講習として、心肺蘇生法と消火器の扱い方について、消防士から講義に実演を交えて指導いただいた。昨年度までは座学が主であったが、出来るだけ体を使った実践的なプログラムをお願いした。参加者が少なかったこともあり、それぞれの動きを指導していただくことが出来た。心肺蘇生術は公民館ホール、消火器訓練は公民館駐車場でおこなう予定であった。しかし、当日は天候が良く、気温がかなり上昇したので、消火器訓練は消火器を取り扱う実演のみ公民館駐車場でおこない、詳細な説明は、公民館ホールにておこなった。

○第2部：昨年度に引き続き、佐倉市栄養士に依頼して、講義・実習をおこなった。まずは、災害時に想定される食生活上のアドバイスと衛生管理について説明を受けた。手洗いについては、実際に手洗いをしてもらった後、手洗いチェッカーによって、手の汚れの落ち具合を確認してもらい、各自の直すべき手洗いの至らないところを直してもらった。続いて、非常時を想定した調理をおこなってもらった。缶詰・乾物・菓子類の食材によるレシピや、耐熱ビニール袋を用いた湯せんなど、避難生活で実践できる提案を紹介していただいた。主食には、危機管理課から提供されたアルファ米を使用した。

○第3部：昨年同様、危機管理課職員による災害避難を想定したカードゲーム「クロスロード」をおこなった。参加者の年齢が低めであったためか、参加者よりもゲームマスターの活躍が目立っていた。「クロスロード」というゲーム自体が、その勝敗を楽しむものではなく、ゲームの過程における議論を楽しむものであったため、小学生4年生が多かった今年に関しては、やや盛り上がり欠けたように思われた。

3部全体とも講師陣には多大なご尽力をいただいた。青少年の育成を通して、将来にわたる地域の防災力向上をはかる面では、実施・継続の意義は大きい。だが、参加者が少ない点は課題である。

**子ども体験講座「ヘタでいい ヘタがいい 絵とことばで想いを伝えよう！
こども絵手紙講座」**

① 開設趣旨 LINEスタンプではなく、自由に絵を描き言葉を添えることで、自分の思いを表現する力を養う。また、大切な人に送ることでコミュニケーションの大切さを感じ、自分の気持ちを形にする経験を通して創造力や表現力を養うことを目的とする。

① 募集対象 小学1～6年生 10人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月23日（水） 9：30～12：00	・絵手紙の書き方を習得する。 ・自分で表現する力をつける。	日本絵手紙協会 後藤 美世子 氏

④ 講座を終えて

「今年度のテーマは、何にしよう」と考えていた時、利用者から「良い講師が居るから話を聞いてください」と言われ、打ち合わせをすると、ちょうど講座に最適と思い、初めて実施を決めた。

しかし、募集の際、児童に直接紙を渡せないのがネックで、中々受講者が集まらなかった。デジタルトランスフォーメーションがもてはやされているが、それでは、その場で情報は伝わるが時間が経つと情報が残らないので、やはり「紙が一番だ」と思った。

講座は、タイトルの「ヘタでいい ヘタがいい」の言葉の意味から解説が始まった。絵手紙の創始者小池邦夫氏が上手下手に関わらず「自分の気持ちを素直に表現することが大切」と絵手紙を普及させた。

次に、筆の持ち方・線の書き方・円の書き方と進んで行っていたが「ん？ みな上手過ぎる！ どこかでやったことある？」聞くと、ほぼ初心者のもようであった。大人と異なり、素直な小学生は物事を早く取得できるようであった。

1回目は、半紙に。2回目は、はがきに練習してから、いよいよ本番のうちに、それぞれ想い想いの絵を描き、ことばを添えた。

アンケート結果を見るとほぼ全員が「楽しかった」「次回も参加したい」と答えた。

昨年までの「公民館利用サークルが講師」というものではないが、アシスタントが公民館利用者ということで「地域に還元」という公民館の目的は保たれていることから、来年度も継続してみたい。夏休み期間中に、館内で作品展示も行った。

夏休み子ども体験講座 作文教室

① 開設趣旨 読書感想文や作文の課題に取り組むことを想定した学習をとおして、考える力・表現力を養い、文章の読み書きへの対応力を身につける。

② 募集対象 小学5年生～中学2年生 20人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	令和7年7月24日（木） 13：30～15：30	本の選びかた、文章のまとめかたに関するアドバイス・講義。図書館司書の推薦図書紹介。参加者は、次回まで各自課題に選んだ作文に取り組む。	元中学校国語教諭 岡本 万里子

2	〃 8月 1日(木) 10:00～11:30 13:00～14:30 14:30～16:00 (いずれかを選択)	希望の時間枠内で、参加者が持参した作文について個別指導	
---	--	-----------------------------	--

④ 講座を終えて

本講座は、継続して3回目の開催となった。前2回の状況を見た講師の提案で、読書感想文に限らず、作文全般を取り上げる講座としたが、参加者全員が読書感想文を選択し、実施内容は例年同様、読書感想文の指導となった。

参加動機は家族からのすすめが大半のようだったが、自分なりに主体性をもって参加する姿勢が見られ、ほとんどが講座終了までに仕上げており、企画で意図した夏休みの宿題支援は、参加者全体では概ね達成することができた。

一方で出席者数の減少が著しく、講師から今後の実施について検討の声があった。図書紹介も、職員個人の厚意によるところが大きい。今後は講座を担当する関係者の負担や必要な経費と講座から得られる成果を比較して、その継続の有無を考えるべきであろう。

夏休み子ども体験講座 佐倉っ子塾 高速道路のお仕事＝ネクスコさんがやってくる

① 開設趣旨 身近な生活基盤を支える仕事果たす役割について理解を深め、社会に貢献する人々への敬意を醸成する。

② 募集対象 小学生 20人

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	令和7年8月5日(火) 10:00～12:00	高速道路の保安業務について、講義のほか、動作体験や、使用車両の見学をととして学習する。	東日本高速道路(株) 関東支社 千葉管理事務所

④ 講座を終えて

本講座は、夏休みに青少年が職業と地域に親しむ講座として、佐倉ICに着目して企画した。依頼の結果、東日本高速道路(株)千葉管理事務所の事業活動理念に合致することが認められ、開催に至った。千葉管理事務所も、管内施設・学校外では初めての試みとのことである。同所副所長および総務課長が担当され、所内・関連会社との調整に当たってくださった。

講師役は、千葉管理事務所・関連会社3社の計4社から派遣いただいた。同社資料・機材モデル・実物備品・パトロール車・トラックを用いて、物流を支える事業の説明のほか、安全と快適の維持に欠かせない作業に関わる動作体験や車両見学を行った。

各ご担当の持ち時間は30分程度ながら、24時間365日の業務を笑顔で語り、子どもへ向き合う姿勢に、感銘を受けた。新品の旗や、当初困難とされたトラックに加えて、新車のパトロール車には「夏休み子ども教室」の電光掲示をご用意いただいた。夏季繁忙期中のご協力と、温かいお心遣いに、深く感謝申し上げます。

手厚いご対応をいただいただけに、定員割れと欠席で参加者が少数となり、手放しで事業の教育意義が達成されたとは言いがたい点が残念だった。

夏休み子ども体験講座 オリジナルハーバリウムを作ってみよう

～ボトルアートの世界へようこそ～

① 開設趣旨 自然の素材を使って作品を制作することにより、生態系や植物の成長について学ぶ機会を与える。また、個々の作品を作ることで、受講生の感性や創造力を育むことを目的とする。

② 募集対象 小学生 20人（定員に満たない場合は、大人も可）

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月26日（火） 10:00～12:00	ハーバリウム作り	JHA認定講師 大石 真知子

④ 講座を終えて

今年で2回目の講座。公共施設でのポスター掲示と、LINEによるアナウンスで募集を行った。また、夏休みの主催事業の際にもチラシを配布した。結果、19人の応募があった。

当日は、2人の欠席と1人の飛び入りで18人となった。

講座は、初めに講師からハーバリウムとは、と説明があり、その後製作。瓶を選んだり、入れる花を選んだり。受講者は初め迷ったり、やり直しをしたりしていたが、やっと花を入れ終えオイルを入れると、満足のいく作品に仕上がった。受講者の中にリピーターが2～3人おり、「去年は、こんな風だったから違う感じにする」大人の受講者は「海の中の雰囲気」など家で構想を練ってきた方もいて意欲を感じられた。

今回「定員に達しなければ大人も可」とし、結果、3人の応募があった。講座中は、世代を越え会話が弾み、和気あいあいの良い雰囲気となり、講師に積極的に質問をしていた。

アンケートをみると、ほぼ全員が「とても楽しかった」と答え、「来年もやるんですね」という声も多数上がった。「住民のニーズ」ととらえ、来年度も可能であれば「小学生と大人」のスタイルで実施していきたいと考えている。

今年度、事例発表のテーマであることから公民館運営審議委員の見学があった。

3. 成人教育事業

根郷寿大学

- ① 開設趣旨 年齢を重ねた地域住民に対し、地域に愛着を持ち、他者とかかわりながら、健康で心豊かな生活を送ることを目的に、健康、歴史・文化、時事問題などに関する学習をととして、受講者が交流を深める機会を提供する。
- ② 募集対象 60歳以上市民 80人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月16日（金） 10:00～12:00	開講式・オリエンテーション 校歌練習・班長等の選出	公民館利用サークル 「シニアコーラス根郷」
2	6月20日（金） 9:20～12:00	佐倉の郷土の先覚者 西村勝三	元根郷小学校長 諸根 彦之
3	7月18日（金） 9:20～12:00	認知症について考える	みつば脳神経クリニック院長 大木剛
4	9月19日（金） 9:20～12:00	災害に備えて ～普段からできること～	佐倉市八街市酒々井町消防組合 佐倉消防署神戸出張所 危機管理課 防災班
5	10月17日（金） 9:20～12:00	音楽鑑賞	公民館利用サークル 「音楽の森」
6	11月21日（金） 9:20～12:00	民生委員とは？	佐倉市民生委員児童委員協議会 会長 小林眞智子
7	12月19日（金） 9:20～12:00	佐倉市70年の歩み	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
8	1月16日（金） 9:20～12:00	今から知っておく 成年後見制度について	佐倉市社会福祉協議会 中村 圭紀 兼子 知世
9	2月20日（金） 9:20～12:00	健やかな毎日のために フレイル予防と軽体操	高齢者福祉課 岩本 絵己
10	3月13日（金） 9:20～11:30	班活動発表 閉講式	

④ 講座を終えて

今年度は、班ごとにまとまって座る、毎回座席位置を変えることを試みた。班内でのコミュニケーションの促進と、受講環境の偏り解消を目的としたものである。

班での話し合いなど、講師にも座席状況を活用いただき、聴講だけによらない講座内容の充実をはかることができた。一方で、私語が増えて講座開始・講義再開に時間がかかる、前方・後方で見づらい位置の回は集中できない様子が見られた。

次年度は、定員・講座時間・回数等変更して、すでに募集している。公開講座、バスを利用した課外学習、4月開講など、受講満足度・実施意義の向上への取り組み案は、次年度以降に託したい。

シニアの向け健康づくり講座

- ① 開設趣旨 生活習慣病の予防や、日常生活の中で簡単にできる運動を学び、シニア世

代になっても健康で日々暮らせるようにする。

① 募集対象 成人 20人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月8日（水） 10：00～11：30	柔軟、筋トレ、有酸素、バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	AFAA認定 インストラクター 森 たか子
2	10月15日（水） 10：00～11：30		
3	10月22日（水） 10：00～11：30		
4	10月29日（水） 10：00～11：30		

③ 講座を終えて

本年度の健康づくり講座も例年通り、定員20名、4回の講座として募集を行った。28人の申し込みがあり、キャンセルや途中リタイアを見込んで、全員の参加を認めることにした。1名が仕事の都合上キャンセルとなり、2名が体力的に途中リタイアとなった。

第1回目にヘルスチェックアンケート実施し、講師が綿密に受講者の健康状態をチェックした。

前半の講義では、「～つくってみよう！やってみよう！健康（健幸）づくりの自分モデル～」をテーマに、健康づくりの3本柱、有酸素運動・筋力運動・柔軟運動・バランス運動、アクティビティ（身体活動）＋コミュニケーション（認知活動）の関係、1日30分以上体を動かすメニューを学んだ。休憩をはさんで、実技に入った。最初は、ストレッチと柔軟体操を行い、椅子を使って筋力運動・バランス運動・有酸素運動をして、最後にマットを引いて整理体操を行った。足を吊った男性参加者もいたが、大きな問題はおこらなかった。

第2回目の前半講義では、認知症の予防効果として「有酸素運動と筋力運動」、脳が幸せを感じるホルモンについて学んだ。後半の実技では、柔軟体操の後、椅子を使ったバランス運動、椅子無しの有酸素運動を行った。全員積極的に取り組む姿勢がうかがえた。今回も足を吊った男性参加者がいたが、すぐにもとに戻っていた。

第3回目の前半講義では、呼吸法について、防衛体力を高める呼吸法が効果的ということで、横隔膜、助間筋、腹横筋を意識した呼吸法の説明がなされた。講義の中で、講師の呼吸の動画を使って、わかりやすい講義となった。後半の実技では、最初から椅子を使わずに、ストレッチの段階から呼吸法を取り入れ、ヨガの筋力運動・バランス運動等有酸素運動を促す体操が重点的に行われた。

第4回の前半の講義は、今まで3回の要点を復習し、音読の効用について、講義があった。脳の記憶や学習、感情を司る「前頭前野」を鍛える効用があるとの講義であった。その後、今までの復習の実技を行い、最後に片足立ちでのバランス運動を行い、最初の講義と比べて効果が出ているか確認も行われた。

アンケートでは、アンケート総数21名のうち、講座に満足した人17名、やや満足した人4名であり、運動をする意欲が高まった16名、少し高まった5名との高評価を得ており、講座を受け運動を継続しようと受講者の機運が高まったと考えられる。また、こうした講座の継続を希望する人やもっと多く開催も望まれていた。

春待つ園芸講座

① 開設趣旨 地域連携事業として、佐倉ハーブ園協力のもと、3月中旬に開花する草花によるプランターの植栽を実習する。根郷小学校卒業式・入学式の日程に合わせて開花した場合は、式の運営に配慮のうえで、校門前へ提供する。

① 募集対象 成人 25人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	令和7年11月12日(水) 9:30～11:30	地域事業者の協力のもと、園芸ボランティアが掘り取りしたチューリップの球根を活用して春に咲く植物をプランターに寄せ植えする。	(株)常磐植物化学研究所 増尾 栄一

③ 講座を終えて

本講座は、佐倉ハーブ園のご協力のもと実施してきた継続事業である。今年度は内容を新たに、実習成果を地域に還元することを目指して開催した。

根郷小校門前に飾るプランターに加えて実習した小プランターの植込みは、講師の提案・提供によるものである。参加者と公民館がそれぞれの場所で、ともに見守って春を待つ講座となった。講師には、本事業にご賛同いただき、自家製の竹炭の用意など、大変熱心にご指導くださった。さくら分校のご協力により、ミニ看板を設置できる用意ができた。受講生からプランターに関心を寄せる声も聞かれたことから、待つ間の手入りを協力しておこなう取り組みを取り入れるなど工夫しながら、地域連携事業として、継続できることが望ましいと考える。

珈琲学入門講座 ～おいしさの方程式～

① 開設趣旨 市民の方は、毎日忙しい日々を送っているが、今日だけは日常を忘れ、珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や、抽出技術などを学び、珈琲の持つ魅力を再発見し、至福の一杯に出会う機会とする。

② 募集対象 成人 10人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月29日（土） 9:30～12:00	珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井 稔

④ 講座を終えて

講座は、ドリルを使い、珈琲の歴史、豆の違い、珈琲の器具の説明があった。ドリップ式・サイフォン・コーヒーマーカーそれぞれ違いがある。

ドリップ式には、さらに穴の数により、抽出時間の違いがあり、3穴は、早く抽出できるので、スッキリした、1穴は、3倍の時間をかけるので、コク深い作品に仕上げるができる。

サイフォンは、アルコールランプで、温めながら抽出することで、豆の個性がさらに際立ち、より温かい物を提供できるそうだ。コーヒーマーカーは、会社やファミリーレストラン等大量に抽出するのに向いていて、味は・・・。

次に、講師がドリップ式の、デモンストレーションを行った。「エグ味・雑味・灰汁を浮かせて美味しい所だけ落とすんですよ！」受講者は、「至福の一杯に仕上げる」という意気込みで、真剣に講師の動作を見ていた。

いよいよ、自分が店主となり、抽出が始まった。早速「あっ！」という焦ったような声が

あちこちで……。すると、講師が「気にせず続けてください」と。1回目が終わりと、周りの方たちと飲み比べをしたが、「うーん」という表情。

次に備え、お湯を沸かしている間に、抽出のポイントの話があった。ブラジル、モカ、ベトナムと、都合4回抽出した。抽出の間に、講師が、器具（サイフォンとマキネッタ）を変え抽出した物を受講者に配り、「器具によっても、こんなに味が違うんですよ」と。

4回抽出終わるころには、それぞれ「至福の一杯」に出会えたようだった。アンケートの結果を見ると、ほぼ全員が、「満足、学ぶ意欲が高まった」と答えた。「家で淹れたい」という意見もあった。

今年度 かなりの人が抽選に外れたので、来年度の講座について、講師と打ち合わせをし、やり方を検討していきたい。

おとなのための寄せ植え体験講座

① 開設趣旨 寄せ植え体験をすることで、自然とのふれあい、土とのふれあいを楽しんでもらうことを目的とする。生活中に緑を取り入れるとともに、育てた寄せ植えが地域住民の目に留まることにより、きれいなまちづくりの一助とすることもねらいとしている。

① 募集対象 成人 20人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月13日（土） 10:00～12:00	お正月を迎えるための寄せ植えを学ぶ	花の教室 四季の風 高橋 洋子

③ 講座を終えて

コロナ後再開して、今年度で3年目となる「おとなのための寄せ植え体験講座」。今回も花の教室 四季の風 高橋氏を講師に迎えて開催した。

最初に講師によるデモンストレーションがあった。ビオラ・シクラメン・葉ぼたん等9種類の花や球根を植えた。「花によって植える深さが違う」「根っこはきれいに掃除してから植えて」等 花それぞれの注意点の話があった。

いよいよ寄せ植えを行っていく。少し深めの鉢に球根を植え、その上に土をかぶせてお花を植えていく。受講者は「こんな風に植えたことはなかった」「こんなにたくさんの種類を同じ鉢に植えたことがなかった」と言っていた。

始まる前に「先に進まないで」と注意したが、やはり自己流で進めてしまう方が居たが大事には至らず、参加者はそろってきれいに完成させることができた。

最後に、受講者からの質問への回答と色々なアドバイスを講師が行った。その中で「失敗して学んでください」という話があった。マスターするには、何年かかるものだった。

講座後のアンケートでは、参加者すべての方から、「満足」と回答をいただいた。また、「回数を増やしてほしい」との声が多数あった。

毎回この講座は人気があり、今回も抽選となっている。ただ、初心者でみると、定員を割っているの、来年度の実施については、協議しても良いと思う。

すてきな布を使ってあなた好みの御朱印帳を作ろう

① 開設趣旨 伝統的な技法とオリジナルのアイディアを組み合わせた御朱印帳。日本人

の伝統文化に思いはせながら、オリジナル御朱印帳を作り、そこに新しく訪れる土地の印やスタンプを押すことで知らない文化に触れることを目的とする。

② 募集対象 中学生以上 10人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 8日（土） 9：30～12：00	すてきな布を使ってあなた好みの御朱印帳を作ろう	製本教室認定講師 岩宮 しげみ

① 講座を終えて

定員10人の募集をしたところ、14名の応募があった。参加できない応募者を出さなければいけない状態であったが、小那木理氏と松田富美子氏が講座のお手伝いをしてくださることになり、その結果参加人数を増やして、13名の参加者でおこなうことが出来るようになった。

13名の参加者を3人グループ3つ、4人グループ1つに分けた。講座が始まる前に、布を持参できなかった参加者の布を講師が用意して、各自が持ってきた布にアイロンを掛けて始まる準備をおこなった。

まず、裁断紙を布に貼る作業を、グループごとに協力しながらおこなった。次に本文となる紙を2つ折りにし、蛇腹になるようにのり付けした。この作業は単純作業ではあるが、結構のり付けの仕方を間違える人が多くいた。一通りの説明の後で、各自作業をおこなったが、説明を受けながら、ひとつひとつの作業を全員でおこなうような形が良かったかもしれない。そして、表裏表紙に布を貼り付けて、それを本文用紙とまっすぐに貼り合わせて完成させた。

真剣ながらも雰囲気の良い中で作業は進み、最後に参加者全員で集合写真を写して講座を終了した。アンケートを見ると、ほぼ全員が満足し、目的が達成されていると回答していた。御朱印帳作りをはじめとして、体験型の講座を希望する人が多数いた。

佐倉学入門講座 「鎌倉時代から戦国時代にかけての千葉氏 ～その頃の根郷地区～」

① 開設趣旨 根郷の歴史について学び、郷土への関心を持つきっかけづくりとする。

② 募集対象 成人 50人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月30日（金） 10：00～12：00	- 千葉氏前史 - 公地公民制が崩れ、荘園公領制が成立していく過程 - 南北朝から室町時代の千葉氏 - 戦国時代の千葉氏 - 根郷の遺跡について	日暮 冬樹 （根郷公民館）

④ 講座を終えて

「根郷の歴史について学び、郷土への関心を持つきっかけづくりに」と企画した。講義は、千葉氏前史から始まり、公地公民制が崩れ、荘園公領制が成立していく過程へと続いた。後半には、根郷の遺跡についても触れ、「これは、解説を詳しく聞きたい」という声もあった。たくさんの資料をご用意くださり、詳しく解説していただいたが、「文字が小さくて見えない」「古文書にはルビを振ってほしい」等 資料に関する意見が多数寄せられた。

アンケート結果を見ても、上記の理由から「満足度」の欄が「未記入」の方が多数居た。

講義について、全て講師任せにせず、担当者の思いを伝え、打ち合わせを密にし、内容に反映させていくべきだった。

ちば電子申請サービスでの申し込みが始まって3年目になる。応募者71人に対し、55人が利用し、利用率は、77.4%。昨年の63.8%より数字だけだが、だいぶ普及してきたように感じる。しかし、デジタルトランスフォーメーションを推進している以上、全員が使えるようにPRも継続していきたい。

佐倉学のテーマは、まだまだあるので、継続して実施して行きたいと思う。

佐倉学入門講座「レイテ島で佐倉連隊の戦跡をたどる」

① 開設趣旨 佐倉にゆかりの歩兵第57連隊が、第2次世界大戦において、フィリピンレイテ島にて繰り広げた戦いと戦後の慰霊について、レイテ島に実際おもむいた体験をもとに語っていただき、佐倉の近代史に理解を深める。

② 募集対象 成人 50人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月31日（金） 10:00～12:00	佐倉にゆかりのある歩兵第57連隊のフィリピンレイテ島に残る慰霊碑をとおして、レイテ島における戦争の実態にふれて、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ。	内田 儀久（市史編さん委員）

③ 講座を終えて

戦後80周年をむかえた今年令和7年という契機に、佐倉における戦争と平和を考えるために、内田儀久氏が平成25年にレイテ島に尋ねた歩兵第57連隊が所属した第1師団の戦友・遺族が戦跡につくった慰霊碑を写真で紹介された（激戦地リモン・撤退先の集合地マハンラグ＝カンギポット山麓・降伏停戦式がおこなわれたセブ島のイリハン）。レイテ関連の慰霊碑は、自然災害や継承者の高齢化により、なくなってしまったものが多く、当時を知ることが出来る貴重な写真と訪問体験であった。

また、平成12年度から15年度にかけて、内田儀久氏は佐倉市史編さん事業として佐倉連隊関係者を訪ねて体験談を聞き取ったなかで、レイテ戦体験者である長嶺秀雄氏（元歩兵第57連隊第2大隊長）、松戸義男氏（元歩兵第57連隊第2大隊第2機関銃中隊所属）、山下伸一氏（元歩兵第57連隊第2大隊第6中隊所属）らがいらっしゃった。その時の話も加えて、レイテ島における日本軍全体の戦いではなく、佐倉にゆかりのある歩兵第57連隊を主としたレイテ島における戦いが説明され、当時の人々の想いや戦争の悲惨さが紹介された。

アンケート結果を見ると、ほぼ全員が「講座に満足し、目的が達成されている」と回答している。継続開催や、別のテーマでも開催を望む声があることから、来年度もテーマを精査し、継続していきたいと思う。

今回講師の声が聞き取りづらいという声が少なかった。もう少しマイクのボリュームの調整などの工夫が必要であった。

佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪

① 開設趣旨 根郷地区を散策しながら、野草・古木等を観察し、自然について関心を深める。また、郷土の歴史・文化・自然を学び、郷土愛を高めるとともに、地域を見直す機会を提供する。

① 募集対象 成人 春の野草観察会 15人
鍋木浅間神社 20人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	4月17日（木） 9：30～12：30	季節の変化を感じよう！ 春の自然観察会	佐倉野草会 近藤 維久子
2	7月 1日（火） 9：30～12：00	佐倉の歴史と信仰を歩く 鐺木浅間神社等を訪ねて	菊地 昭夫

③ 講座を終えて

両日とも、天候に恵まれた。

〈自然観察会〉

出発すると、軌道沿いに帰化植物「鉄道草」が繁茂している。これは、鉄道の車輪に付いた草が風で飛び、軌道沿いで生育するそうで、南房総に生息する草もあるそうだ。

六崎の畦道へ移動すると、皆がよく知っている たんぽぽ・ヨモギ・ナズナ・コハコベなど、次々に解説が続いた。

毎年講師から、「観察会は五感で感じて」と言われ、食べられる物は味を確かめながら、食べられない物は、匂いを感じながら講義が進んだ。講師の軽快な話術と野草などに対する熱い思いが受講者を野草の世界へ誘っていった。

最後に講師から、「自然、いつも通りが一番なのです。 だから、他から持ってきて、勝手に植えるのは、絶対止めてください」と、自然を愛する一言で締めくくられた。

〈浅間神社等を訪ねて〉

何十年も前から行われている浅間神社の祭礼。地区は違うが興味があったので、企画することにした。祭礼の見学だけでなく、折角の機会なので、佐倉地区の寺社も巡った。

浅間神社は、「浅間神社世話人」の内田氏からお話をいただいた。7月1日は、富士山の山開き。そして、富士山の神様である、木花咲耶姫命（このはなさくやひめ）をお祀りした浅間神社の祭礼日。佐倉には、鐺木と大佐倉に浅間神社が鎮座しており、両社で祭礼を行っている。昔から、こどもの無病息災を祈る浅間神社には、数えて7歳までのこどもと家族がお詣りする習わしがある。とのことから、家族でお詣りする姿が多数あった。次に神社に掲げられている2本の「のぼり旗」についての解説があった。①有霊宵宵冥冥（ゆうれいしょうしょうめいめい）「世の中がだんだん暗くなっているが、そんな中でも正しいことをする人がいる」という意味。②至貞細巻縋馨馨（していいんけんけいけい）「正しい行いが長く続くと、その名声評判が遠くにまでおよび、世の中が明るく盛んになる」という意味だそうだ。

浅間神社を後にし、堀田家や土井利勝等にゆかりのある、さくら庭園 勝寿寺 松林寺 地域交流館等を巡り、それぞれ解説があった。

〈両講座〉

アンケートの結果を見ると、満足度は高く、約8割の受講者が、講座の目的が達成され、学ぶ意欲が高まったと回答している。

ただ、当日は、始める前からかなりの高温。今回は、ケガ等も無く無事解散できたが、暑い季節なので、座学にするか、季節を変えて歩くか、来年度に向け検討していきたいと思う。

佐倉学体験講座 根郷産こんにゃく芋を使った こんにゃく作り講座

① 開設趣旨 地域の産物として江戸時代の文献に記録が残る こんにゃくを手作りする体験をとおして、地域住民の親睦と地域への愛着を育む機会とする。

① 募集対象 成人 16人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	令和7年12月4日(木) 9：30～12：00	近隣地域で栽培収穫されたこんにゃく芋を使い、地域講師の協力のもと、こんにゃくを手作りする	牛玖 昌弘

③ 講座を終えて

材料の粘り気でミキサー作業の進捗が悪く、ミキサーを追加しても時間がかかり、最も作業が遅れた班は予定時間を20分程度越えて実習を終えた。全ての班で生地内部の凝固が弱く、ひと班は茹でる間にゼリー状に戻って固まらず、他班と完成品を分け合うことができなかった。直接指導を仰ぐ必要のある場面が集中してしまいがちとなり、講師の負担の大きさが見て取れた。

参加希望が多いため、選考にあたっては過去の受講歴を参考にしているが、アンケートによると、他館などで経験のある人が大半で、必ずしも初心者に広く機会を提供できているわけではないと分かった。今回の経験者で見られたところでは、自身の知見で作業しようとする、個人の満足の範囲にとどまって学習環境継続への関心が低いなどの課題が感じられた。

4. 団体育成事業

根郷地区社会教育関係団体への支援

根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、こども会育成会連絡協議会、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

花の応援団

地域住民によるボランティア団体と連携して、学習環境の維持・向上のため、公民館の花壇・植栽の手入れをおこなう。園芸を通じた仲間づくりや生きがいの醸成、会員どうしの交流促進をはかりながら、概ね月1回活動してきた。

会員の減少や加齢による体調の都合により、今年度12月で活動を終了した。

実施日	人数	実施日	人数
4月14日(月)	4	10月6日(月)	5
4月28日(月)	6	11月10日(月)	4
5月12日(月)	3	12月8日(月)	4
6月9日(月)	4	活動終了	
7月14日(月)	4		
8月休み	0	※3月9日(月)	2
9月8日(月)	2	計	34

※3月は園芸活動継続の申し出があった元会員の一部と活動

定期利用者懇談会

- ① 開設趣旨 公民館を定期的に利用している定期利用団体に対し、公民館の利用方法を周知し、公民館活動についての理解を深める機会の提供。利用団体から意見や要望も伺い、館の運営に反映する。
- ② 対象 定期利用団体代表者 76団体（出席 38団体 欠席 38団体）
※欠席団体には、書類を配布
- ③ 日時 4月25日（金）午前10時～午前11時

調理室利用者懇談会

- ① 開催趣旨 食器・調理器具を保管する場所の清掃および整理整頓を行い、衛生環境を保つ。あわせて意見交換を行い、衛生的かつ安全な利用環境の維持・向上をはかる。
- ② 対象 利用団体代表 5 団体
- ③ 開催日時 令和 8 年 2 月 2 6 日 (木) 午前 1 0 ～ 1 1 時

5. 広報事業

根郷公民館だより

- 趣旨 公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。
- 発行回数 年2回（177号 4月15日刊行、178号 9月15日刊行）
- 発行部数 177号：6,500部 178号：6,300部
- 配布方法 各公民館・図書館の窓口配架。根郷地区内に新聞折込み

6. 図書事業

図書の貸出・返却

- 趣旨 読書活動を支援すると共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図った。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の利便を図った。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行った。
- 蔵書数 約3千冊
- 月別貸出冊数・返却冊数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	169	144	151	168	175	114	108	124	120	106	93	100	1,572
返却数 (冊)	261	310	263	318	292	290	212	256	211	242	208	262	3,125